

議案提出書

意見書案第 2 号 地方財政の充実・強化を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり岡山市議会会議規則第15条第1項の規定により提出します。

令和3年9月14日

市議会議長 和 氣 健 様

提出者	市議会議員	二 嶋 宣 人
	"	柳 迫 和 夫
	"	田 口 裕 士
	"	藤 原 哲 之
	"	林 潤
	"	福 吉 智 徳
	"	林 敏 宏
	"	吉 本 賢 二
	"	松 田 隆 之

地方財政の充実・強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の出現により、今、地方自治体には新たに多くの行政需要が発生し、ワクチン接種体制の構築、防疫体制の強化、「新しい生活様式」への変化を余儀なくされた市民の日常生活から発生する問題など、あらゆる課題に即時の対応が求められている。それと同時に、医療・介護など社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、少子・高齢化の進展とともに、従来からの行政サービスに対する需要も、これまで以上に高まりつつある。しかし、現実に公的サービスを担う人材の不足が顕在化しており、近年多発している大規模災害、またデジタル化への対応も迫られている。

こうした地方の財源対応について、先般閣議決定された「骨太方針2021」では、2024年度まで、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額について、2021年度の地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保することとされたところである。一方、政府では新型コロナウイルス感染症への対応により巨額の財政出動が行われる中、今後の地方財源が十分に確保できるのかという懸念もある。

このため、2022年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、新型コロナウイルス感染症に係る新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の安定を目指して、下記の事項を実現するよう、強く要望する。

記

- 1 社会保障、防災、環境、地域交通、人口減少、デジタル化対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。
- 2 新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制の構築、感染症対応業務を含めた、より全体的な保健所体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス感染症対応事業、また地域経済の活性化まで踏まえた、十分な財源措置を図ること。
- 3 子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。
- 4 2020年度から始まった会計年度任用職員制度については、適正な任用・勤務条件の確保の観点から、引き続き所要額の調査を行うなどして、その財源確保を図ること。
- 5 地域間の財源偏在性の是正に向けては、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、抜本的な改革を行うこと。また、各種税制の廃止、減税を検討する際には、地方六団体などを通じて、自治体の意見や財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応を図ること。
- 6 地方交付税の持つ財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、大都市特有の財政需

要など地方自治体の規模に応じた財政需要や地方税等の収入を的確に見込み、標準的な行政サービスの提供に必要な地方交付税額を確保すること。

- 7 地方交付税の法定率を引き上げるなど、引き続き、臨時財政対策債に頼らない地方財政の確立に取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月16日

岡山市議会議長 和 氣 健